

平成29年11月24日

篠山市長 酒井 隆明 様

篠山再生計画推進委員会

委員長 井本 季伸



篠山再生計画（行財政改革編）の進捗状況等にかかる意見・提案について

篠山再生計画（行財政改革編）の進捗状況等について、平成29年10月18日に篠山再生計画推進委員会を開催し審議のうえ、取りまとめた意見・提案を別紙のとおり提出いたします。

**篠山再生計画の進捗状況等についての  
篠山再生計画推進委員会委員の意見・提案**

【平成29年度】

取組項目等	意見・提案
継続した財政健全化への取り組みと平成30年度の予算編成について	<p>財政健全化への歩みは確かだが、今後一般財源ベースで扶助費や繰出金などが増加する見込みであり、また、実質公債費比率や将来負担比率は全国水準より依然として高い。</p> <p>したがって、収支バランスが取れる時期が近づいたといえども、なお気を引き締めて財政健全化へ取り組む必要がある。</p> <p>そのための姿勢を示す意味で平成30年度の予算編成は非常に重要となるので、全庁をあげて事務事業の点検と見直しに取り組んでいただきたい。</p>
公共施設等総合管理計画の推進について	<p>公共施設等の管理に関して公共施設等総合管理計画で市全体としての目標や方針が示されたが、各公共施設等の具体的な計画の策定が必要と考える。</p>
新たな課題に対する今後の備えについて	<p>昨年度に当委員会から、今後市が直面する公共施設等の老朽化対策など新たな課題に対応するための計画策定を提案したが、今回、公共施設等総合管理計画で示された今後の更新費用は平成28年度の普通建設事業費からみて非常に多額である。</p> <p>したがって、更新に伴う費用が集中しないよう、可能な限りの事業実施の前倒しや基金の積み立てなどで更新費用の平準化を図り、この先に来るであろう大変な時期に備えていただきたい。</p>
まちづくりを行いながらの財政健全化について	<p>財政健全化とあわせて魅力あるまちづくりも重要であり、昨今、定住促進、子育て支援、教育、景観ほか各分野、そして日本遺産認定など、まちづくりの取り組み成果が現れているので、今後も力を入れていただきたい。</p> <p>そのため、事業の選択と集中の考えをもったまちづくりとし、財政健全化に向け取り組んでいただきたい。</p>